【国指定・史跡】

ぐすくいせき

城久遺跡

(平成29年10月13日指定)





製鉄・鍛冶関連の遺構



城久遺跡の航空写真

土葬墓

写真提供 喜界町教育委員会

- O 所在地 大島郡喜界町大字山田字山田半田791番地1 外
- O 面 積 49,257.00㎡
- O 年 代 古代~中世
- 〇 特 徴

城久遺跡(註)は、喜界島の中央部、島内で2番目に標高の高い海岸段丘(標高90~160m)の縁辺部に所在します。450棟を超える建物跡や、土坑墓をはじめ、南西諸島で初めて中世前期の製鉄遺構・遺物が発見されました。

古代日本国家との関わりの中で交易拠点として成立し、11世紀後半 以降に形成される琉球、奄美地域の交易圏において中心的な役割を果 たしたと考えられる遺跡です。

城久遺跡は,考古学・文献史学の双方から南東社会の変遷を知ることができる希有な遺跡として重要であり,史跡に指定されました。

註 城久遺跡は、山田中西遺跡・<u>山田半田遺跡・</u><u>半田口遺跡</u>・小ハネ遺跡・ 前畑遺跡・大ウフ遺跡・半田遺跡・赤連遺跡の8つの遺跡の総称です。下 線のものが指定された遺跡です。